

毎日寒い日が続きます。日が照り風のない日にモニターに出かけます。1月23日13時30分～

1. 矢作川河口より10.1kmのところの名鉄西尾線が矢作川を渡っています。この鉄橋の橋脚は基盤部分がブロックで何重にも囲まれていて、水流でえぐられるのを防止しています。橋脚周りには写真のごとく木がたくさん生い茂っています。こんな橋脚が残っている橋は私のモニター区間(橋の数6本)ではここだけです、確認できませんがこの橋脚周りは魚の宝庫となっているに違いありません。

河川管理に治水、利水、環境保全、の3つの目的がある。
この場所は治水から見ると、川の流れを妨げ、洪水時には木材などいろいろな物が引っ掛かり氾濫要因になるのではないか？
他方、自然保護の観点からみると生物多様性の拠点であり好ましい状況だと思ふ。
個人的には氾濫要因にならない程度でこのような場所を残して欲しい。



2. この橋脚より200M上流に私の名付けた”カモ池”がある。ここは川幅の広い低水路なかで土砂の堆積により陸地化した部分より染み出た水で分流ができているようだ。池より上流150Mから高水敷沿って1M幅くらいの水たまりが流れになりこの池ができているようだ。10月～12月に見た時は30匹～50匹のカモが水浴していたが、今回は1匹もいなかった。なぜだろう？

